

眞の宣傳——寧ろ不言實行を尙ぶ

大使館一等書記官 野田良治

普通宣傳といへば樂隊入りの賣藥的廣告や、寫眞入りの誇張的新聞記事や、活動映画附きの講演などの方法により行はるゝもこの定つて居るから、不言實行は一寸聽いただけでは所謂宣傳は餘程遠いかの如く感せらるゝであらう。頭や筆端や活動寫眞や乃至は最新式の無線電話の放送により行はるゝ所謂宣傳も、夫れ相應の効能はあるから、宜しく盛んに行ふべきである。が併し吾人の考へる所では、眞に効果ある宣傳は少くとも言行一致のものでなくてはならぬ。若し言の宣傳は空論に過ぎざるの謗を免れて實行が之に伴はねばならない。而かも此の大聲壯語に相

應する實行が併つて居らぬから其の結果たるや徒らに排日家の新聞紙上に掛け論掲載の機會を與へたに過なかつてはないか。後ににして行を先にせよとの意で人を誘導する所まで進みたいと故に吾人をして言はしむれば、斯くの如き大聲壯語を吐く代りに、兵庫村の建設は別問題として免る角當國の數箇所乃至數十箇所に於て、總計して少くも何十萬町歩といふ比較的大な土地に投資して欲しかつたのである。毎年一萬と最初から觸れ出しがつたのである。同年の閱歷はさすに、唯黙つて成るべく良好の移住者を出來得る限り多數誘入する爲具體的に努力して欲しかつたのである。同氏の閱歷は常にブラジル人に對して我が同胞の真價を宣傳する上に於てお次にブラジル人に對して我が同胞に宣傳して見えた所で、現に當ての如に互に注意すべきことは、矢張り言行一致の争ふべからざる事實を以て吾人自身を紹介することである。縱令一方に於て如何に日本人が優秀な人種で、その移住はブラジルの利益になると盛んに宣傳して空論たるに止まるではないか。况んや其の優良なることを示すどころか、反対に不良分子の醜惡行爲がありでもして、それが續々發き出されやうの空論の境を越えて虚偽妄誕に陥るであらう。吾人は聲を高うして我同胞の同化性を始めとし、その有する所の凡ての美點を宣傳する爲折角努力中である。在伯同胞諸君の、現在から將來の資本家に示すといふ興味は出ないものであらうか。自ら進んで然るべき方面に多くは餘り多くを此等の資本家に期待すまい。なぜならば併し吾人は餘り多くを此等の資本家に期待すまい。なぜならば併し吾人は百

尺竿頭更に一步を進めて、不言實行一致——然り言は一致でなく、併し吾人は百

外國新聞通信社の誇張はあつたとしても、詮する所、宣傳の聲がチト大き過ぎた爲に外ならぬ。而かも此の大聲壯語に相

年新賀謹

旦元年正十五年

ロヒエス旅館
郎太忠山中

Rua C. de Sarzedas, 50 S. Paulo

年新賀謹

旦元年正十五年

地旅館上
藏彌地

Rua Bonita, No. 11 São Paulo

謹賀新年

日本貿易商會
サンパウロ市

謹賀新年

大正十五年元旦

藤崎商會

本店 リオ・デ・ジャニロ
支店 ベルナンブコ

謹賀新年

大正十五年元旦

サンパウロ市

御旅館常盤

館主石原桂造

謹賀新年

新年を迎ふるに際し
華客各位の御清福を
奉祈候

瀬木商店

内外品 卸小賣
聖市コンセレイロ・フルタード一一

謹賀新年

雜貨直輸入商

椎野兄弟商會
Rue Hermínio Lemos, 9
São Paulo

今後渡伯日本移民の將來

翠 生 晚

時報記者足下華祝益々御多幸、はざる可らず、何となれば今日ヨーロッパにて、小生近年當地に蟄居耕耘のみの事致し殆んど曆年なき有様にて、足下の求に適合する答を爲す如き考案なく汗顏の至る所なり。又は會社より其所有者も折角の命に依り聊か文字を羅列して責を盡すに過ぎず。近母國資本家及起業家の當伯國視察に來るもの百を以て數ふに拘らず未だ其實現を視る能はざるは誠に遺憾極まるも、此兩年來母國朝野は記者の言の如く種々の方法を講じ多くの移民を送りつゝあるが、生は嘗て十年前唱えられたる「移民は棄民なり」との言を繰返すことなく非ざるかを憂ふ。若し生の方法を施設し居るを知らずと雖ば杞憂を謝するの外なきも、不幸にして其施設なく徒に移民を送り、數の多きのみを以て國の發展と思惟する如きことあらば笑止と云はざる可らず。今日現在する同胞約五萬の内極めて少數者を除きては彼は悉く十八年、此間種々なる不辛の犠牲に供せられたる少數者を除き今日に至りしかを願ることは今後移民として渡伯する同胞の將來に關し大に必要なる可し。伯國が歐州大戰前は外國に輸入を仰ぎ居りし米の、今日反対に輸出せらるゝに至りし如き體に其一半は同胞の產出に待ち、其他農産物の增加したる皆同胞の努力に待つ處多く、殊にジャガ芋の如き同胞の產出大部分を占め、殆んど獨占の有様にて他國の進歩に貢献したると共に、各自の懷中を温めたるは明なり。雖も、同胞の悉くが成功者又は成功に向ひつゝありと斷定することは早計に失するものと云競ふて伯國の利權爭奪を敢てし

るに拘らず未だ其實現を視る能はざるは誠に遺憾極まるも、此兩年來母國朝野は記者の言の如く種々の方法を講じ多くの移民を送りつゝあるが、生は嘗て十年前唱えられたる「移民は棄民なり」との言を繰返すことなく非ざるかを憂ふ。若し生の方法を施設し居るを知らずと雖ば杞憂を謝するの外なきも、不幸にして其施設なく徒に移民を送り、數の多きのみを以て國の發展と思惟する如きことあらば笑止と云はざる可らず。今日現在する同胞約五萬の内極めて少數者を除きては彼は悉く十八年、此間種々なる不辛の犠牲に供せられたる少數者を除き今日に至りしかを願ることは今後移民として渡伯する同胞の將來に關し大に必要なる可し。伯國が歐州大戰前は外國に輸入を仰ぎ居りし米の、今日反対に輸出せらるゝに至りし如き體に其一半は同胞の產出に待ち、其他農産物の增加したる皆同胞の努力に待つ處多く、殊にジャガ芋の如き同胞の產出大部分を占め、殆んど獨占の有様にて他國の進歩に貢献したると共に、各自の懷中を温めたるは明なり。雖も、同胞の悉くが成功者又は成功に向ひつゝありと断定することは早計に失するものと云競ふて伯國の利權爭奪を敢てし

既に數億萬圓の資本を注入し居るにも拘らず、尙ほ此上多額の投資を企てつゝある者悉く先づ

出でざるに十倍の上騰は驚く

所なり。此の如く十年を

経て一率標準と爲すことは勿論

得るや疑ひなし。然らば孰れの

外なく、而して此等の土地は日

後来るべき日本移民の居り附くに至りたるに鑑み、今後吾同胞の

利益を以て希望者に賣却せば從

觀ありて、外國人の手に依り爲

本人に賣渡す價格なれば、其人

なりて、或者は既に數百コント

スの資産を有し、否らざるもの

も十コントスを降る者は殆んど

</

新賀年

名刺交換

在リオデジャニロ
帝國大使館

田付七太	原口七郎	齋藤武雄	蜂谷吾輔	北村政吉	青木梅雄	太田龍二	林田正勝
福間豊吉	古川靖壽	石井壽	峰谷專一	濱谷定次郎	與那嶺仁五郎	坂野一三	佐藤榮治
栗津金六	古川靖壽	古川靖壽	金森嘉一	金森嘉一	篠崎正常	坂野一三	川原政右衛門
中川原毅夫	江越信胤	江越信胤	齋藤甚七	齋藤甚七	篠崎正常	右田辰彦	別府友太郎
南條榮	大村信夫	大村信夫	多賀秀孝	多賀秀孝	池田三五郎	溝淵秀馬	家具製造販賣
金田宣雄	北村豊治	北村豊治	翁長助成	翁長助成	坪田信雄	坪田信雄	北西線リス市郵局九一
三浦文夫	昌嶺	昌嶺	福川爲然	福川爲然	弘田秀馬	弘田秀馬	北西線リス市郵局九一
赤松祐之	入江一清	入江一清	小笠原尙衛	小笠原尙衛	原村喜之助	原村喜之助	北西線リス市郵局九一
春日廊明	古關富彌	古關富彌	長谷川二郎	長谷川二郎	佐藤初太郎	佐藤初太郎	北西線リス市郵局九一
天満隆行	早尾季鷹	早尾季鷹	竹内佐市	竹内佐市	坪田信雄	坪田信雄	北西線リス市郵局九一
中川徳太郎	赤嶺新野榮	赤嶺新野榮	西田逸二郎	西田逸二郎	丹尼爾·蘇士基	丹尼爾·蘇士基	北西線リス市郵局九一
渡邊儀平	岡本秀之助	岡本秀之助	弘田秀馬	弘田秀馬	佐藤初太郎	佐藤初太郎	北西線リス市郵局九一
西村大吉	蓑原磯吉	蓑原磯吉	山下健劑	山下健劑	坪田信雄	坪田信雄	北西線リス市郵局九一
江藤	旅館	鍼灸術醫	Daniel M. Suzuki	Daniel M. Suzuki	坂元靖	坂元靖	北西線リス市郵局九一
山根寬一	イガラバーバ	コソフエタリヤ	年賀新	年賀新	恭	恭	北西線リス市郵局九一
	ノロエヌテ線リス	忌中に付年末年始の禮	員部支地各社報時爾西刺伯	員部支地各社報時爾西刺伯	坂元靖	坂元靖	北西線リス市郵局九一
		を相缺き申候	古謝將義	古謝將義	福川薩然	福川薩然	北西線リス市郵局九一
			須山勘一	須山勘一	宮崎八郎	宮崎八郎	北西線リス市郵局九一
			岡島仁郎	岡島仁郎	長尾喜樹	長尾喜樹	北西線リス市郵局九一
			山勘一	山勘一	山鷲造	山鷲造	北西線リス市郵局九一
			岡島仁郎	岡島仁郎	山鷲造	山鷲造	北西線リス市郵局九一

恭賀新年

大正十五年元旦

伊東商店

サンパウロ市

謹賀新年

大正十五年元旦

中央同志會

サンパウロ市

謹賀新年

去りし年の御禮を申上ます
皆様の御祝福を祈り上げ
本年の御引立を御願申上ます

サンパウロ市

雜貨商遠藤常八郎

謹賀新年

大正十五年元旦

サンパウロ市
ミカド運動俱樂部

謹賀新年

大正十五年元旦

建築請負業
鮫島新之助

サンパウロ市

謹賀新年

大正十五年元旦

舊年中は不一方御引立に預り
難有奉感謝候
尙ほ本年も不相變御愛顧の程
伏して願上候

横溝洗濯染工場

サンパウロ市

PHARMACIA LUIZ PEREIRA BARRETE

Rua da Glória, 54-B Teleph. Central, 4925
São Paulo

GARAGE MIKADO

年新賀謹

PHONE CIDADE, 40
Avenida S. João, 140

GARAGE AUTO DODGE

年新賀謹

PHONE CIDADE, 242
Avenida S. João, 154

年新賀謹

旦元年五十正大

各艦船賣込業

K合資商會

前田 合同經營

電話一九七三番

御旅館

潮ホテル

前田吉太郎
電話一九二四番

K
ケズリ節
三共商會
前田吉太郎
電話三〇五四番

年 新 賀 恭

大正五十一年元旦

出利葉兄弟商會 馬場營業部
豊田商店 渡邊龜造 渡邊ペンソン
中島商店 久保鐵工場 栗田兄弟商店
安田商店 松澤商店 青木商店 佐々木商店
佐光商店 佐々木商店 櫻木秀吉 坂野靴工場
廣岡菓子店

Hotel Ribeira

恭賀新年 Hotel Ribera 謹賀新年
イグアペ郡レヂストロ
リベイラ・館主 小松
一月一日より開業致
付此段御
新

桂製材工場

年 新 賀 謹

深伊中加田池和深
澤藤村藤中上熊
實織吉益陸深
傳美枝松雄郎衛一

農產物加工業

無限責任 大瀧生產組合

Hotel Maijii

謹賀新年

前地 ホテル

和洋食料品販賣社

謹賀新年
平口裁縫店
イグアヘ櫛民地

イグアペ植民地

伯刺西爾時報社支部
日伯新聞社支部

年 新 賀 謹

年 新 賀 謹

マトグロッソ州に生活する印甸人中がラエの二派に分れてゐるとの起源の説を貢いたものである。ボロ族間に「バガレジモセ」の派に属するものはセラエ派に屬する者はコカルダ派に属する者と同様にセラエ派の者はカレラ派の者と結婚し、決して同派の者と結婚しない習慣がある。彼等は鹿の肉は忌んで食はない。

大昔ある日の事であつた、男達は竹で作つた網で漁をしてゐた。その中の一人が網を上げて見た所か、その底にジャコモの魂が三つ引つかつてゐた。一つは黄色で、他の二つは赤と黒とで、一つは黄色で、他の二つは赤と黒とであつた。男は側の弓矢をさるなり黄色の魂をねらつて矢を射つた。ねらひは誤た矢が黄色の魂にくすぐつたと思ふことは如何に、川の水嵩はぐんぐん増して、非常な勢で汎濫し始めた。驚いた男は一生懸命に逃げ出しがながら、道で逢ふ人々に大水が出たから逃げるやうに注意した。漸くの事で村へたどりつき村民に、早く逃げないと溺れるぞ、と泣き進しながら燃えさしの薪を一本持つて、山の上へ駆け登つて行つた。

此男の泣き声に中には逃げ出しかけた者もあつたが、水の勢が早くして忽ち溺死してしまつた。多くの者はその泣き声に馬鹿にして、家中に落着き拂つてゐたので、家ぐるみ水に没はれて皆溺死してしまつた。

山へ逃れた男は頂上から下を見下ろすと、野も森も村も一面の海原と化し、生きてゐるのは何一つ見へず、而も水は尙ほ増して、この高い山さへ没しきつてしまつた。

萬事休して、どうしたらいいだらうと思ひながら、火と煙をさしの薪を持つてゐるのに氣がつき、その火で石塊を熱し、そ

の石を碎いて四方へ投げたところが、水はまたよく間に逝いてしまつた。
すつかり水が退いたので、山から村へ下りて来たがそこにはもう何一つ残つてゐなかつた。
笛を吹いて仲間を呼んだが、答ふるものはないだまばかり。
「あゝ困つたな、愈々俺はひばつちになつてしまつた！」
かう云つて溜息しながら笛を吹くと、遠くから鹿がそれに答へた。足跡を追つて鹿のそばへ行つた男は追ねた。
「お前かい、今返事をしたのは？」
「え、私ですとも。」
と鹿は答へた。よく見るとこの鹿は牝だつたのである。
「お前は之から俺の妻になるだよ。」
と云つた。それから男は鹿を暮して二人は少しも離れなかつた。そして澤山子供が生れた。
第一番目に生れたのは牡鹿で、一番目は牝鹿だつたが毛は少しくなく、母鹿にはあまり似てなかつた。三番目の男は人で人間で、胴は鹿の毛が生れてゐるだけだつた。四番目の女のは女の兒でたゞ背中に少し鹿の毛が生れてゐるだけだつた。
かうして尙澤山生れたが、生れるに從つて完全な人間の體をして行つた。
或る日子供を皆呼び集めて、之を男と女とに分け、女の方にツカレジを名づけ、男の方をラエと名をつけた（終）

Kimura Kotaro
Armazem de Seccos e Molhados
Alvares Machado.....L. Sorocabana

Casa Kaneko
Caixa Postal, 70 Estação Cambara
PARANA'

謹賀新年
大正十五年元旦

謹賀新年
尚今年も相變らず御引立
の程伏して御願申します

ソロカバナ線オウリニヨス驛

雜貨及び仲買商
常關

金子商店

木村孝太郎
大正十五年元旦

ソロカバナ線オウリニヨス驛

正 K. S.

須山商店
活動寫眞館横
郵便函九十八
アルヴアレス・マシャド
ブレジヨン殖民地

新賀謹
出張撮影中
Saito Anastacio
L. Sorocabana

市トントス間に

トン子ルをぬいて聯絡

距離は二十基米突を

時間は廿六分に短縮

一九二〇年の聯邦議會に、當市トス要するものとしてなほサンバウロ鐵道の新線豫算約六十萬コントス、ソロカバナ線の延長豫算八十二萬七千コントス

ミランダ氏は、セエラード・マーク・トントルをぬいて、聖市とサントス間に

電力で鐵道列車を運轉し

サンビセンテまで支線を設ける

特權附與の請願をしたが、之は

するものがあつて否決されてしまつた所が、最近のやうにサンバウロ、サントス間の輸送能力

の不充分な事が喧しく論議され

出する共に、さきにはあへなく葬

しり、去られた前記のやうな案が今更に思ひ出されて、當時のミランダ氏がそれに就いて説明を商業會議所でしたりして世人の注意を惹くに至つた。

當時が聯邦議會へ提出した請

願書類に添附した説明書の一節

によると、同案の鐵道は

復線で、直線を走る。

セントス間の輸送能力は〇・〇一六と/orて傾斜は〇・〇一六とする、此結果現在のサンバウロ鐵道より二十基米突を短縮し、電力で走る列車は一時間の速力百基米突として、僅か三十六分で

兩市間を走る豫定、其工事費豫算は當時の為替一ミルが十六片替、即ち磅が十五ミル、は度々難航した通りで

新造優秀船第一船ナントス

が五百九十六レースに基き、於ける巴里的地下鐵道や世界の稱ある伊國のシンポロ女航海に航行、本二月九日サン

トス港頭に旗艦を現すことに

十五上、して、之を現すに爲め七乃至八片に依り計算す

れば倍額より稍多く十五萬コントスとなる豫定、更に悲觀的

三新造船五隻で年十航海の定航をする、そ

餘で往復出来るやうになつたら
さぞ便利な事だらう

次期大統領候補

憲法改正は持越

として政見發表

憲法改正案議了の爲本月臨時議會を招集する旨報道したが其後

憲法改正案議了の爲本月臨時議會の擇頭に討議を了することになつた

候補者としての政見を發表し

た

日本商店として當市に最も古い

歴史を有し且つ日伯貿易に貢献

する處の多かつた藤崎商店サン

候補者を蒙り候段本感謝

の爲め折角の玉稿本紙に登載

し能はざるものあるを甚だ遺憾

するも、是等は何れ今後の紙

上に掲載すべければ、乞ふ之を

し幾重にも御寛恕あらんこ

とを。(時報社)

米國人が夫婦で
伯國へ探險旅行

(紐育二十七日發)

エミリオ・

ケーンファーリ氏夫妻は本日バン

クラス號で伯國へ向つたがバラ

に悦びとする處なると同時に、

玉稿を賜はりたる大使閣下を首

に見ゆるを得たるは社同人の大

員を以て兎に角纏めて讀者諸君

は缺點の少なからざるを遺憾と
す、されど年末多忙の際少數社
員を以て兎に角纏めて讀者諸君

に見ゆるを得たるは社同人の大

は缺點の少なからざるを遺憾と
す、されど年末多忙の際少數社
員を以て兎に角纏めて讀者諸君

に見ゆるを得たるは社同人の大

は缺點の少なからざるを遺憾と
す、されど年末多忙の際少數社
員を以て兎に角纏めて讀者諸君

に見ゆるを得たるは社同人の大

は缺點の少なからざるを遺憾と
す、されど年末多忙の際少數社
員を以て兎に角纏めて讀者諸君

